



第73回

大運動会

乗り越えようこの壁を!

未来を照らせ鹿工の炎!

9月19日(土)、第73回大運動会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、例年とは異なった形で実施せざるを得ない状況に加え、準備段階では天候に恵まれない日が続くなどでしたが、なんとか当日を迎えることができました。

「乗り越えようこの壁を!未来を照らせ鹿工の炎!」のテーマの下、今年も熱い戦いが繰り広げられました。競技の部は、白団が2年ぶりの優勝となりました。序盤こそ劣勢でしたが、終盤に「百足競走3年」「工業杯リレー」といった大きなレースをものにし、「競技の部」「百足競走杯」「工業杯」の3つのタイトルを獲得するなど、見事な

逆転での優勝となりました。応援の部は黄団が平成22年以来的優勝、女子の部は2年生が制しました。また、今大会では新記録が塗り替えられ、1500m走において、緑団、工業化学系3年の村吉孝海さんが4分17秒61の素晴らしい走りを見せてくれました。

例年とは異なった形での実施とはなりましたが、例年に遜色なく、団の威信をかけて戦う姿は感動を呼び、これからも「大運動会」の伝統は引き継がれていきます。尚、今年度は、保護者・OBや近隣の方々には様々な形で、ご不便をおかけしました。大会の開催に当たってご理解・ご協力を賜り、本当にありがとうございました。

第19回 高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会

7月17日～18日にかけて第19回高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会が本校で6部門(旋盤作業・電気工事・電子回路組立・化学分析・木材加工・測量)と7月4日に鹿児島情報高校(自動車整備)で開催されました。新型コロナウイルスの影響により、大会が一ヶ月延期、さらに家具工芸部門の開催が見送りとなる中、開催に向けて木材加工部門が出水工業高校との初のリモート開催、測量部門は、鹿児島工業高校との2会場での開催など各部門感染症対策を行い、大会が行われました。

県内9校42名の選手が参加し、本校からは17名の選手が競技に挑みました。鹿工生は、日々努力した成果をしっかりと発揮したことから、旋盤作業部門をはじめ電気工事部門、化学分析部門、測量部門の4部門(出場6部門)で最優秀賞に輝きました。新型コロナウイルスの影響により九州大会、全国大会は中止となりましたが、今回の大会を経験して、将来日本の工業界をリードする人材に育ち、大きく活躍してくれることを願います。



第19回高校生ものづくりコンテスト 鹿児島県大会 本校入賞者一覧 6部門中4部門 最優秀賞受賞

部門	順位	表彰	学科	学年	生徒氏名	部門	順位	表彰	学科	学年	生徒氏名	部門	順位	表彰	学科	学年	生徒氏名
旋盤作業	1	最優秀賞	電子機械系	2	大野 大樹	化学分析	1	最優秀賞	工業化学系	3	山口 吏久	測 量	1	最優秀賞	建設技術系	2	並松 大世
電気工事	1	最優秀賞	電気技術系	3	新豊 功晟		2	優秀賞	工業化学系	3	金子 凌大				建設技術系	2	福島 竜真
電子回路組立	3	優良賞	情報技術系	3	藤元 亮多								2	優秀賞	建設技術系	3	中玉利 颯太
															建設技術系	2	安樂 遼太郎
															建設技術系	3	有村 歩輝
															建設技術系	2	西 純太

ものづくりコンテストに入賞して

旋盤作業部門

電子機械系2年2組
大野 大樹(坂元中)

旋盤作業部門において、最優秀賞を受賞しました。「やった。」という喜びよりも「良かった。」という安堵の気持ちの方が大きかったです。その理由は、本校はこの部門で3年連続優勝しており4連覇のかかった大会だったからです。それに、新型コロナウイルスの影響で休校になり練習に制限がかかったり、大会が1ヶ月以上延期になったりと最初の計画とは大きく変わって不安な気持ちがありました。それでも旋盤について何も知らなかった私が最優秀賞を受賞できたのは先生方の厳しくも温かいご指導と先輩方や部員の応援、家族のサポートのおかげだと思います。県大会では勝てましたが、あまり良い出来ではありませんでした。九州大会や全国大会が中止となり非常に残念ですが、今よりも迅速かつ正確な加工で、今度はロボットの部品を作り来年度のロボット競技全国大会の出場を目指します。



化学分析部門

工業化学系3年
山口 吏久(桜丘中)

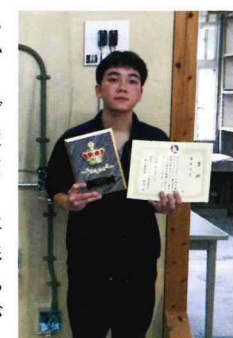
私は、7月18日に行われた高校生ものづくりコンテストに化学分析部門に出場し最優秀賞を受賞することができました。今年は、コロナ禍のためほとんど練習をすることができませんでしたが、練習ができた時はしっかりと本番を意識して、丁寧に正確に分析できるように集中して取り組みました。今回、九州大会はコロナ禍の中で中止になりましたが、この経験を、今後の進路実現に活かしていきたいと思っています。



電気工事部門

電気技術系3年1組
新豊 功晟(天保山中)

私は7月に行われた高校生ものづくりコンテスト電気工事部門に出場しました。昨年の10月から練習を始め、ほぼ毎日練習を重ねてきました。最初の頃は器具の使い方や作業の手順など全くわからず、とても苦労しました。ですが、先輩や先生が熱心に指導して下さり技術が日に日に上達していき努力が報われたと思いました。その結果、県大会では最優秀賞を受賞する事が出来ました。今年は新型コロナウイルスの影響で九州大会が中止になり出場は出来なかったのですが、後輩が九州大会に出場することが出来るように自分も指導していきたいです。



測量部門

建設技術系2年
中玉利 颯太(緑丘中) 並松 大世(武 中)
福島 竜真(明和)

私は、本校で行われた高校生ものづくりコンテスト県大会測量部門に参加しました。今年は新型コロナウイルスの影響もあり、内業で行う八角形トラバースの計算作業となりましたが、練習以上の力を発揮して最優秀賞を受賞することが出来ました。来年は外業、内業共に高い技術を身につけ精度の高い測量が出来るようにこれからも日々練習を重ね、全国・九州大会へいけるようにしたいです。



ジュニアマイスター顕彰

電気技術系3年1組 山口 瑛聖(天保山中)

鹿工は、人間として成長する糧を与えてくれる学校です。その1つである資格取得の面を評価しているのが、ジュニアマイスター顕彰制度です。今年は新型コロナウイルスの影響により、資格試験やものづくり大会などで延期、中止、規模の縮小等の変更がありました。例年に比べ、ジュニアマイスターの取得が難しい1年になりましたが、ゴールド26名、シルバー39名、ブロンズ56名、合

計121名の認定を得られたのは、諦めず努力し続けた証だと思います。頑張ったのは、先生方や家族などから、温かい励ましや力強い後押しがあったからだと感じています。深く感謝しています。資格取得の中で知った、勉強の方法やものの見方、考え方を生かして、今後の目標に向かって諦めることなく取り組んでいきたいと思っています。



部活動紹介 No.2

空手道部

現在空手道部は、5名という少ない人数で日々練習に励んでいます。空手と聞いて怖いイメージを持つ方もいるかもしれませんが、オンとオフの切り替えをしっかりとし、毎日楽しく元気に活動しています。「感謝」の言葉を胸に、日々練習できることへのありがたさや支えて下さる方々への思いを忘れずに、九州大会進出を目標として、これからも一生懸命頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。



剣道部

「先手必勝(勝負面)」「努力は裏切らない(稽古面)」「苦徳を積む※本来は功ですが、あえて苦(生活面)」を部のモットーに、昨年度県新人大会で3位に入賞し、九州選抜大会に出場した今勢いがあるチームです。

「中心を攻めて、崩して、打つ」剣道を目指して、今出来る事を日々全力で頑張っています。

私たちを支えてくれる保護者や全ての人たちへの感謝を忘れず、多くの人たちに感動と共感を与えられるよう、努力していきます。



陸上部

現在陸上部は、東村先生のご指導のもと1年生7名・2年生2名・3年生10名・マネージャー4名の計23名で活動しています。昨年の県高校駅伝大会では、3位に入り、九州大会に出場しました。今年は昨年の出走メンバーが4人も残っている3年生主体のチームです。昨年のタイムをぬり替えることはもちろん、県高校駅伝大会優勝を目指しています。陸上競技の魅力は、相手と勝負することだけでなく、過去の自分や記録を超えることが1番の魅力です。過去の自分を超越するためにこれからも粘り強く頑張ります。



バレーボール部

現在、バレーボール部は1年生11人、2年生12人、3年生12人、顧問・トレーナー4人の計39人で活動しています。

「徹底」をチームテーマに掲げ、応援してくださる方々に結果でも恩返しできるように日々練習に励んでいます。

チームの目標は、11月21日～23日に行われる春の高校バレー県予選で優勝し全国大会に出場することです。昨年度は、14年ぶり11回目の優勝、全国大会出場を果たすことができました。今年度は昨年度に比べ、平均身長が低く高さは劣りますが、拾って繋ぐ粘り強いバレーボールで2年連続出場を果たします。応援よろしくお願いします。



バスケットボール部

現在、11月に行われるウィンターカップ県予選に向けて、日々の練習に取り組んでいます。

昨年度はインターハイという全国の舞台を経験させて頂きました。その時の先輩方の勇姿は今でも脳裏に焼き付いています。だからこそ、先輩方から受け継いだ鹿工魂を胸に、次こそは自分達が全国という大きな舞台に立てるよう、チーム一丸となって、精一杯頑張っていきます。



工芸美術部

工芸美術部は、部員7人で主に平日に活動しています。

毎年、高校美術展への出品、大運動会の看板製作、色々なコンクールへの出品、工芸村でのボランティア活動などに取り組んでいます。手描きやイラストレーターというソフトを使ったり、粘土や木材を使ったりして作品を製作しています。

今年は高校美術展に全員で入賞することを目標として、今まで以上に互いの作品に興味を持ち、意見を出し合い取り入れながらより良い作品になるように頑張っていきたいです。



ソフトテニス部

現在ソフトテニス部は、男子36名女子6名で活動しています。活動場所は伊敷グラウンドで、一面での練習は困難ですが、移動練習や工夫することで活動が成り立っています。競技としてシングルスもありますが、ダブルスのゲームが中心なので、ペアやチームメイトとの信頼関係を大切にすることが必要です。直心(じきしん)の旗の下で団体戦での全国大会出場を目標に取り組んでいます。応援よろしくお願いします。



放送部

目標は「一人一人が責任を持ち、活動を通して伝えていく」です。校内活動では全校朝礼の放送、各行事のアナウンスや機材を受け持っています。対外活動では、6月と11月の大会で作品発表やアナウンス・朗読のコンテストに参加しています。昨年度は第66回NHK杯全国高校放送コンテストのラジオドキュメント部門で「制作奨励賞」を受賞し、秋大会では朗読部門で九州大会に進出しました。またコミュニティラジオ番組「しろくまROKKO」の企画・編集・パーソナリティを務めています。これは代々受け継がれ、来年度は十周年を迎えます。今後も質の高い「伝える」を求めています。



クラスマッチ

7月21日と22日の二日間かけてクラスマッチが実施されました。新型コロナウイルスの影響で、様々な学校行事が縮小や中止の影響を受けていますが、手指消毒や大声を出さない等、出来る限りの感染症対策を取り実施することができました。生徒会や体育委員が中心となり、予防に努める事が出来たのではないかと考えています。また、熱中症も心配されましたが、教室を開放したりすることなどで大きな問題もなく終えることが出来ました。全力で競技を行い、白熱した勝負が見受けられました。1学期最後に良い思い出が作れたのではないかと思います。クラスマッチを行うにあたり、生徒会や多くの職員が協力をしてくださりました。ありがとうございました。



中学生日帰り体験入学

8月4日(火)、26日(水)に中学生日帰り体験入学を開催しました。両日併せて633名の中学生が、学校・各系紹介を受けた後、部活動体験・見学をしました。学校・各系紹介では「どの系も本格的で面白そうだった。」「設備が充実していて、ここで学びたいと思った。」など、より一層鹿工に興味を持った様子が伺えました。部活動体験・見学では「きつかったけれど、活気があって楽しかった。」「先輩たちが丁寧に教えてくれた。」など部活動の雰囲気を感じてもらえたようです。

今回参加してくれた中学生にとって進路選択の一助になっていれば幸いです。



小学生親子ものづくり学習会

毎年恒例の「小学生親子ものづくり学習会」が8月3日(月)～20日(木)にかけ延べ5日間行われました。新型コロナウイルスの影響で実施できるか不安でしたが、対策を講じて無事開催することができ、61組の親子に参加いただきました。

参加者は7つのコースに分かれ、それぞれの制作活動に取り組みました。児童からは、「良い作品ができて嬉しかった。」「将来工業高校に入りたいので、参加できて良かった。」「保護者からは、「コロナ禍で様々なイベントが無くなる中、開催してくださりありがとうございました。」など、嬉しい感想をいただきました。

ものづくりを通して親子がふれあい、協力して1つの作品を完成させることができ、笑顔あふれるとても有意義な学習会になりました。

これからも、鹿工の魅力発信の1つとして継続していきたいと思います。



10月・11月の
主な行事

10月14日(水)～16日(金) 中間考査(1・2年)
23日(金) 総合的な探究の時間(知的財産講演会)
29日(木)～30日(金) 鹿工祭

11月10日(火) 工業クラブ連盟生徒発表大会
10日(火)～12日(木) インターンシップ(2年)
17日(火)～23日(月) 自宅学習強化週間
24日(火)～27日(金) 期末考査

